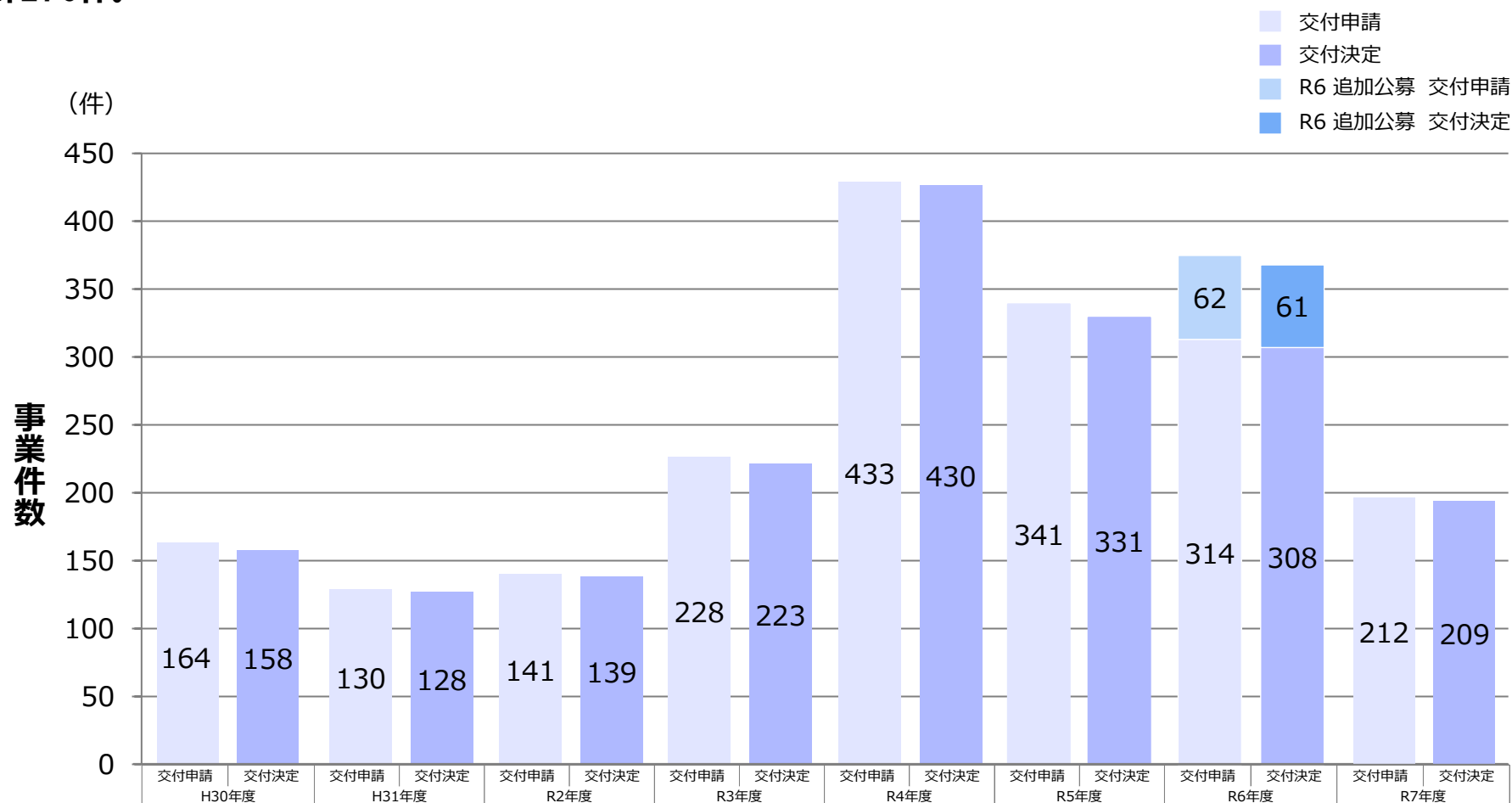


R7年度 交付決定事業の傾向分析 ー低層ZEH-Mー

※R7年度4月以降に交付決定を行ったR6年度追加公募、R7年度一般公募及び新規取り組み公募を合算して集計（N＝270）
※住棟BELSを基にした分析は、交付決定後取下げとなった事業を除いて集計（N＝266）

1. 交付申請件数と交付決定件数(新規採択)の推移(直近8年)

➤ R7年度4月以降に交付決定した事業はR6年度追加公募61件、R7年度一般公募208件、新規取り組み公募1件の計270件。



※H30年度の執行団体は一般社団法人地域循環共生社会連携協会、低中層合算

※H31年度の執行団体は公益財団法人北海道環境財団、低中層合算

※R2年度・3年度は一次公募、二次公募合算、低層分のみ

※R4年度は一次公募、二次公募、追加公募合算

※R5年度は一般公募、新規取り組み公募、追加公募合算

※R6年度は一般公募、新規取り組み公募合算及び追加公募

※R7年度は一般公募、新規取り組み公募合算

2. 建物用途、階層・住戸数別交付決定状況

[N=270]

- 交付決定件数270件のうち、すべて賃貸集合住宅であり、2層と3層がそれぞれ約半数を占めた。
- 住戸数については、5～10戸の事業が全体の約60%と最も多く、住戸数平均は約8戸。

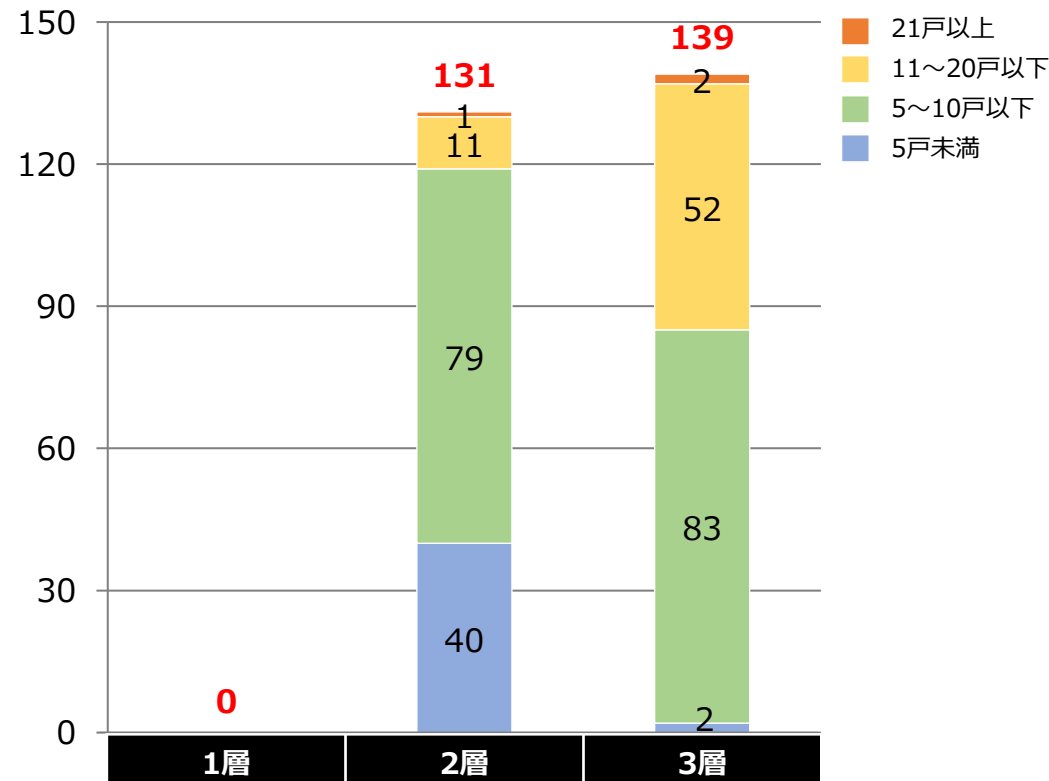
■ 建物用途・階層別 交付決定件数

(件)

建物用途	分譲集合住宅			賃貸集合住宅			合計
階層	地域区分			地域区分			
	1・2・3	4・5・6・7	8	1・2・3	4・5・6・7	8	
1層	-	-	-	-	-	-	0
2層	-	-	-	5	126	-	131
3層	-	-	-	-	139	-	139
合計	0	0	0	5	265	0	270

■ 階層・住戸数別 交付決定件数

(件)

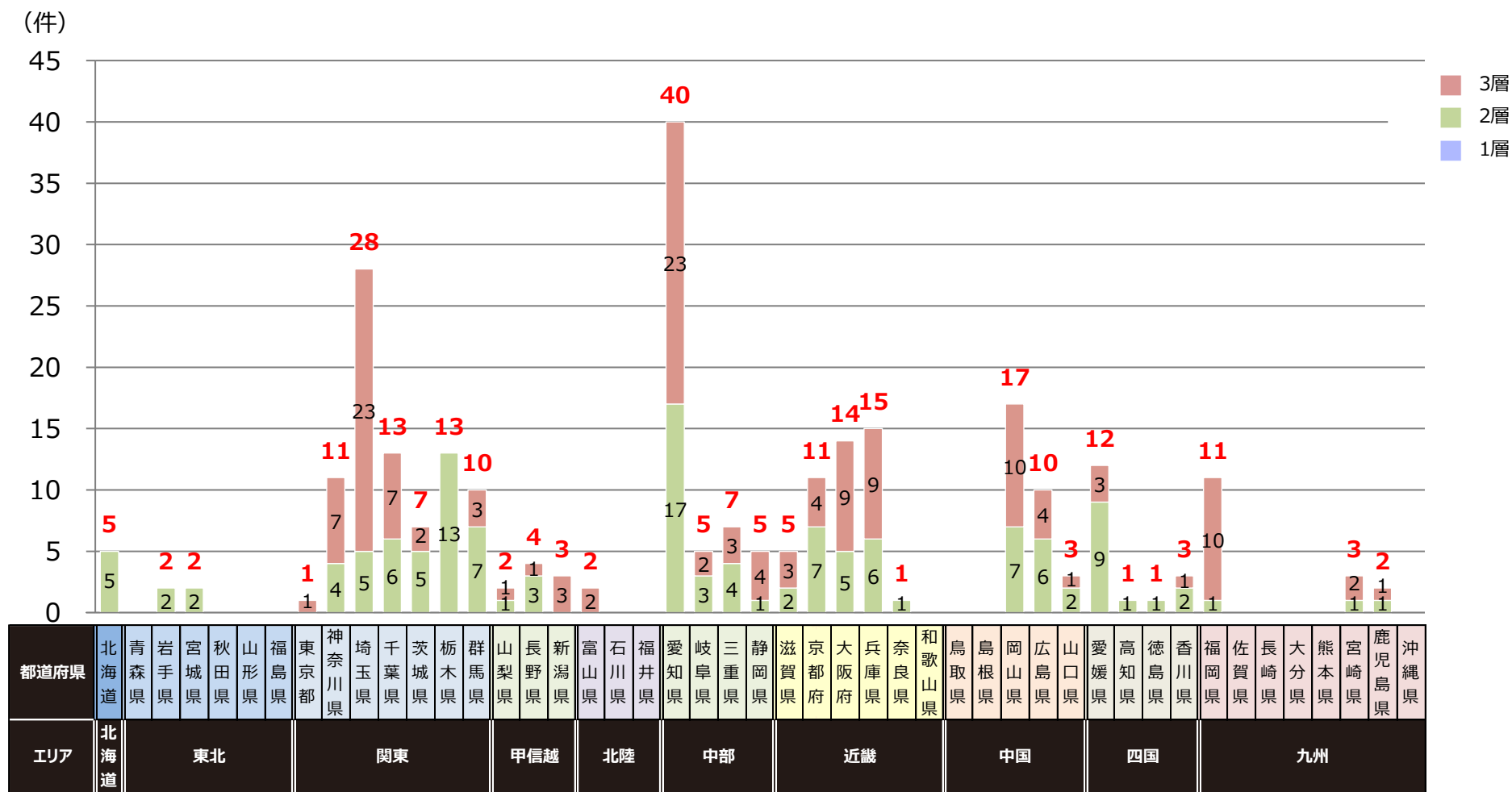


(赤字は合計数)

3. 都道府県別建設予定地

[N=270]

- 交付決定件数270件のうち、愛知県が40件で最多。
- 四国地方は17件で前年より約89%伸びた。



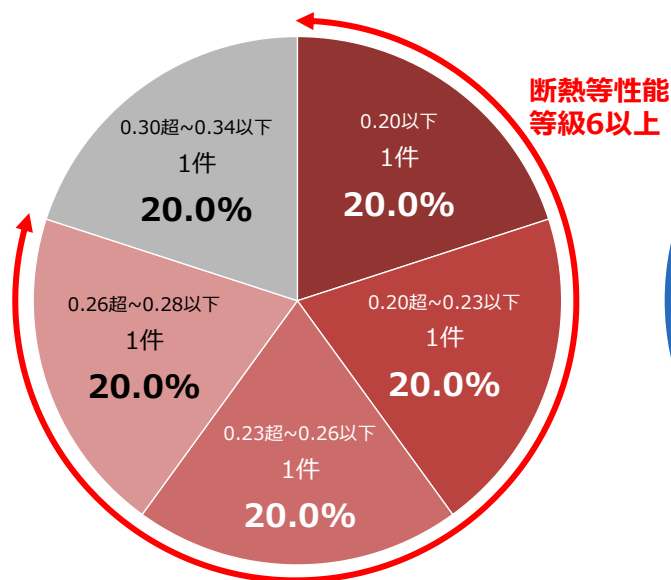
(赤字は合計数)

4. 住棟BELSによる住戸の最大UA値の割合(地域区分別)

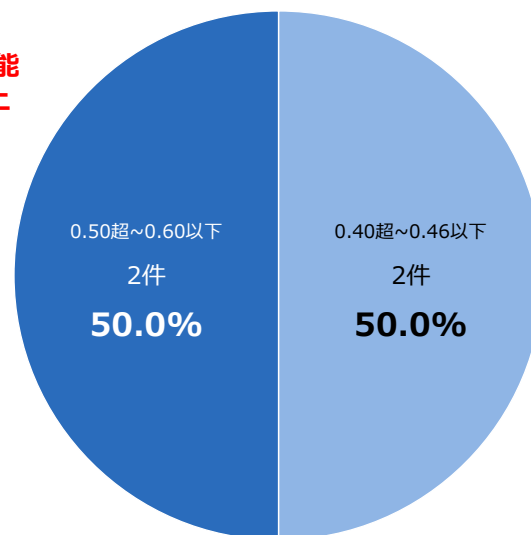
[N=266]

- 住棟を構成する全住戸のうち最も断熱性能が低い住戸(=最大UA値)の数値が断熱等性能等級6の基準を満たす事業は、2地域で80%、5・6・7地域で約60%だった。

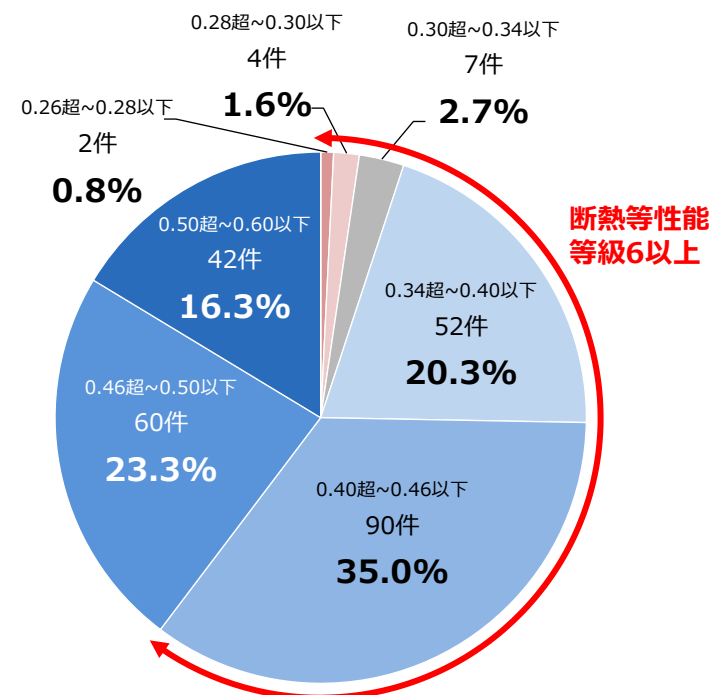
【2地域】
n=5



【4地域】
n=4



【5・6・7地域】
n=257



■ 0.20以下 ■ 0.20超~0.23以下 ■ 0.23超~0.26以下 ■ 0.26超~0.28以下 ■ 0.28超~0.30以下 ■ 0.30超~0.34以下 ■ 0.34超~0.40以下 ■ 0.40超~0.46以下 ■ 0.46超~0.50以下 ■ 0.50超~0.60以下

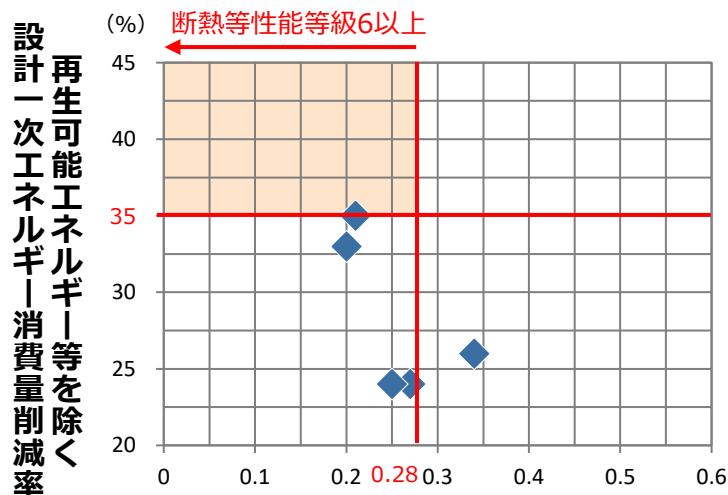
地域区分	1地域		2地域		3地域		4地域		5地域		6地域		7地域		8地域	
UA値	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大
	0	0	0.20	0.34	0	0	0.43	0.60	0.30	0.59	0.27	0.60	0.30	0.55	0	0

5. 住棟BELSによる住戸の最大UA値の分布(地域区分別)

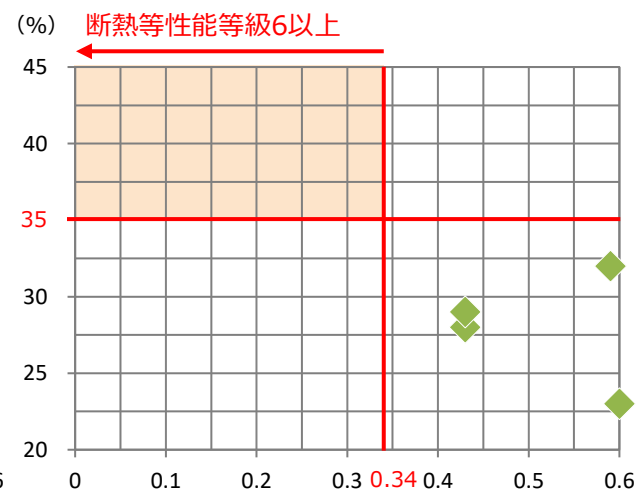
[N=266]

- 住棟を構成する全住戸のうち最も大きいUA値が断熱等性能等級6以上を満たす事業は2地域で4件、5・6・7地域で155件だった。
- GX ZEH-Mシリーズの要件である外皮性能及び再生可能エネルギー等を除く設計一次エネルギー消費量削減率35%以上を満たす事業は2地域で1件、5・6地域で12件だった。

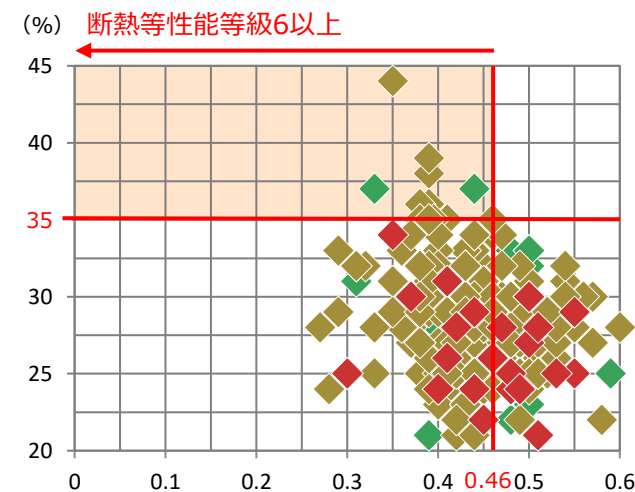
【2地域】
n=5



【4地域】
n=4



【5・6・7地域】
n=257

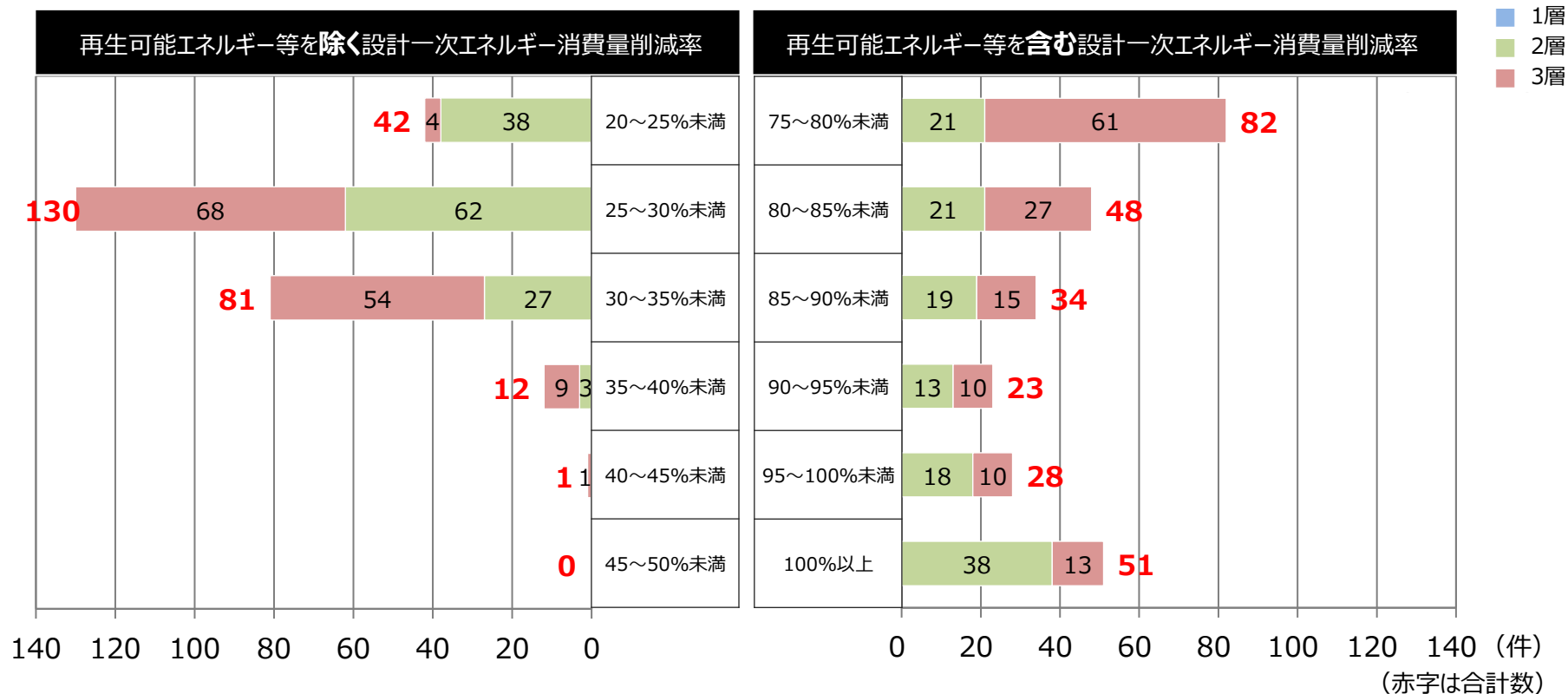


外皮平均熱貫流率(UA値)最大

6. 住棟BELSによる再生可能エネルギー等を除く・含む設計一次エネルギー消費量削減率

[N=266]

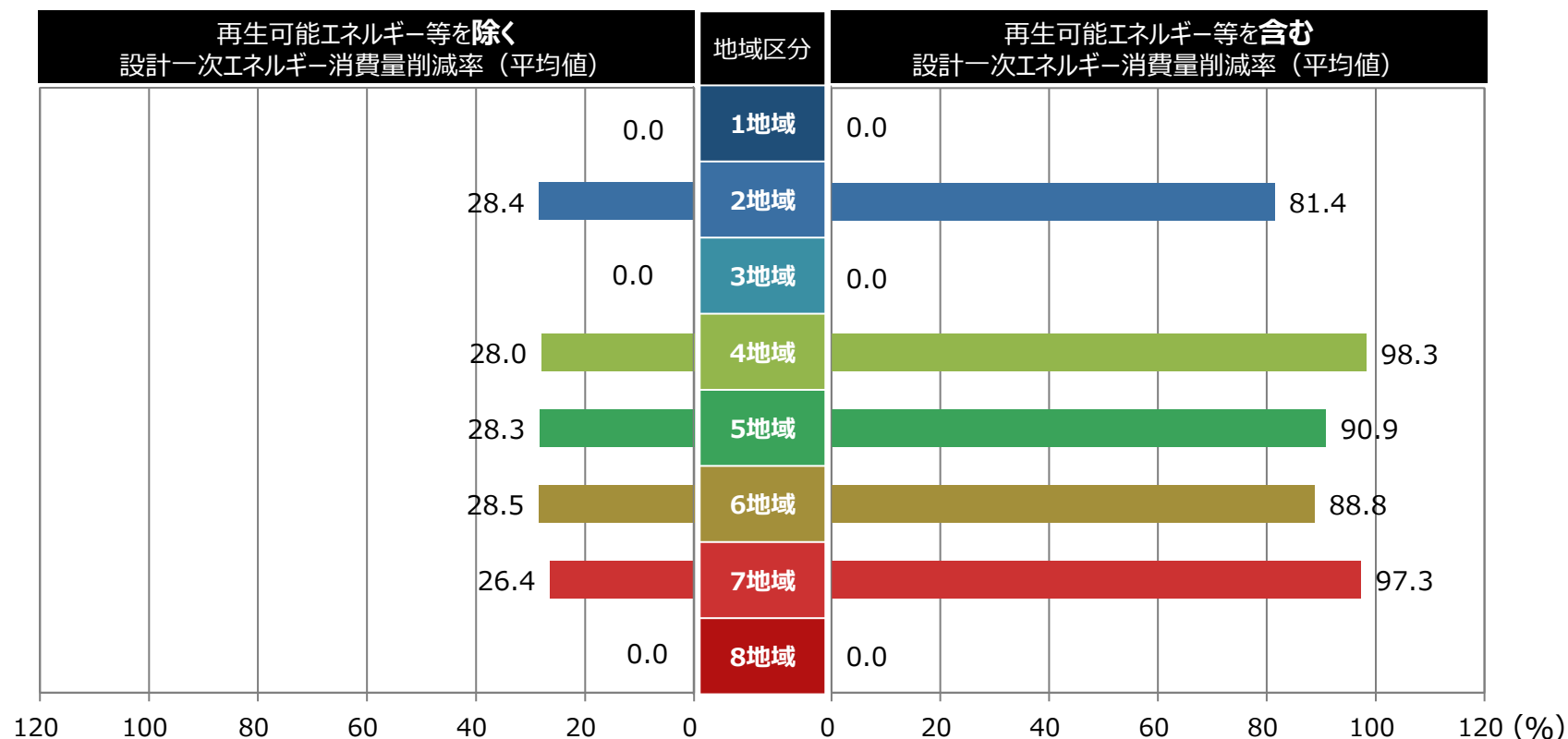
- 再生可能エネルギー等を除く設計一次エネルギー消費量削減率は、「25～30%未満」が最多で全体の約49%を占めた。
- 再生可能エネルギー等を含む設計一次エネルギー消費量削減率は、「75～80%未満」が最多で全体の約31%だった。



7. 住棟BELSによる設計一次エネルギー消費量削減率(地域区分別)

[N=266]

- 再生可能エネルギー等を除く設計一次エネルギー消費量削減率の全体の単純平均は約28%だった。
- 再生可能エネルギー等を含む設計一次エネルギー消費量削減率の全体の単純平均は約90%だった。

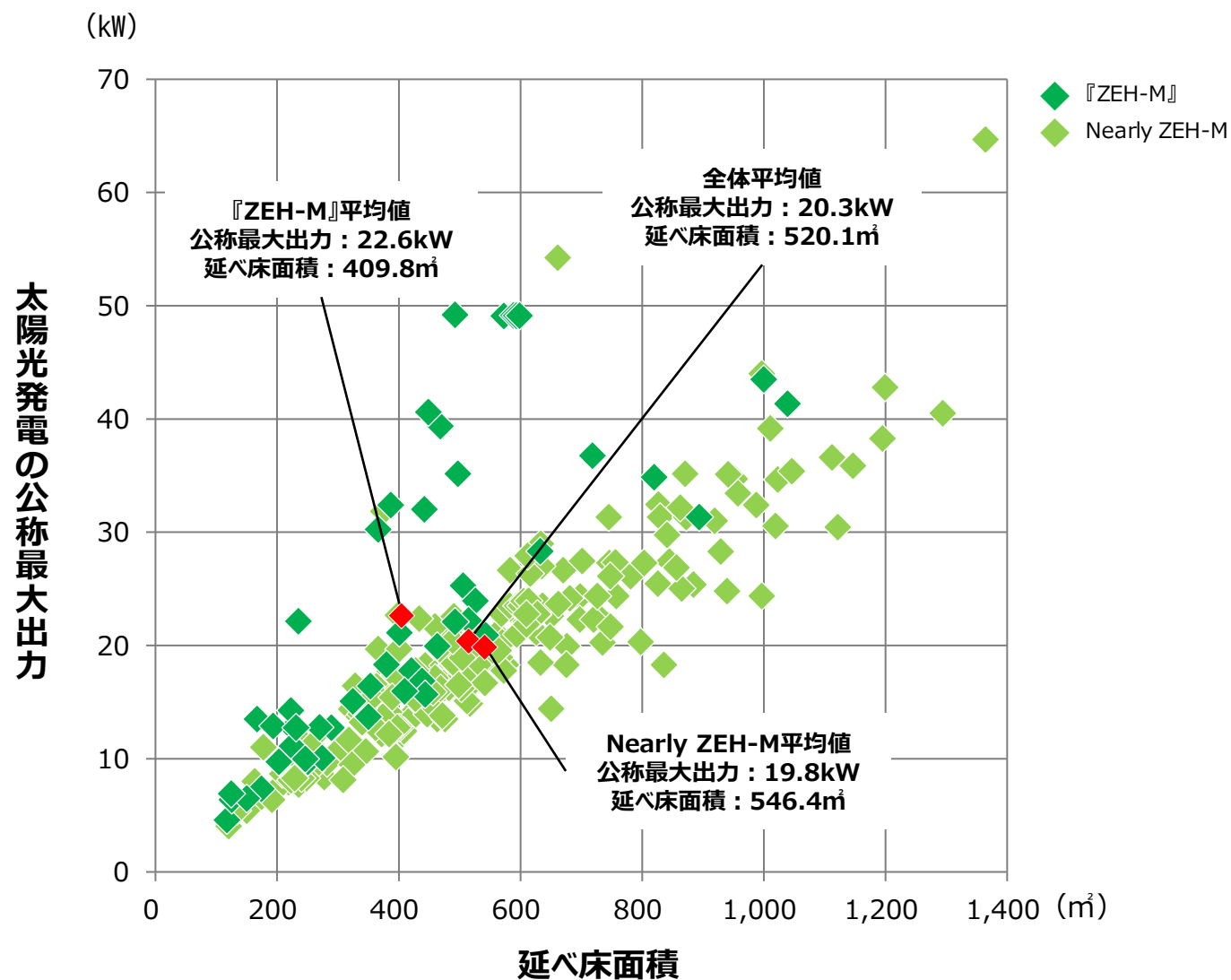


地域区分	1地域	2地域	3地域	4地域	5地域	6地域	7地域	8地域
件数	0	5	0	4	40	191	26	0

8. 住棟の太陽光発電の公称最大出力の分布(延べ床面積別)

[N=270]

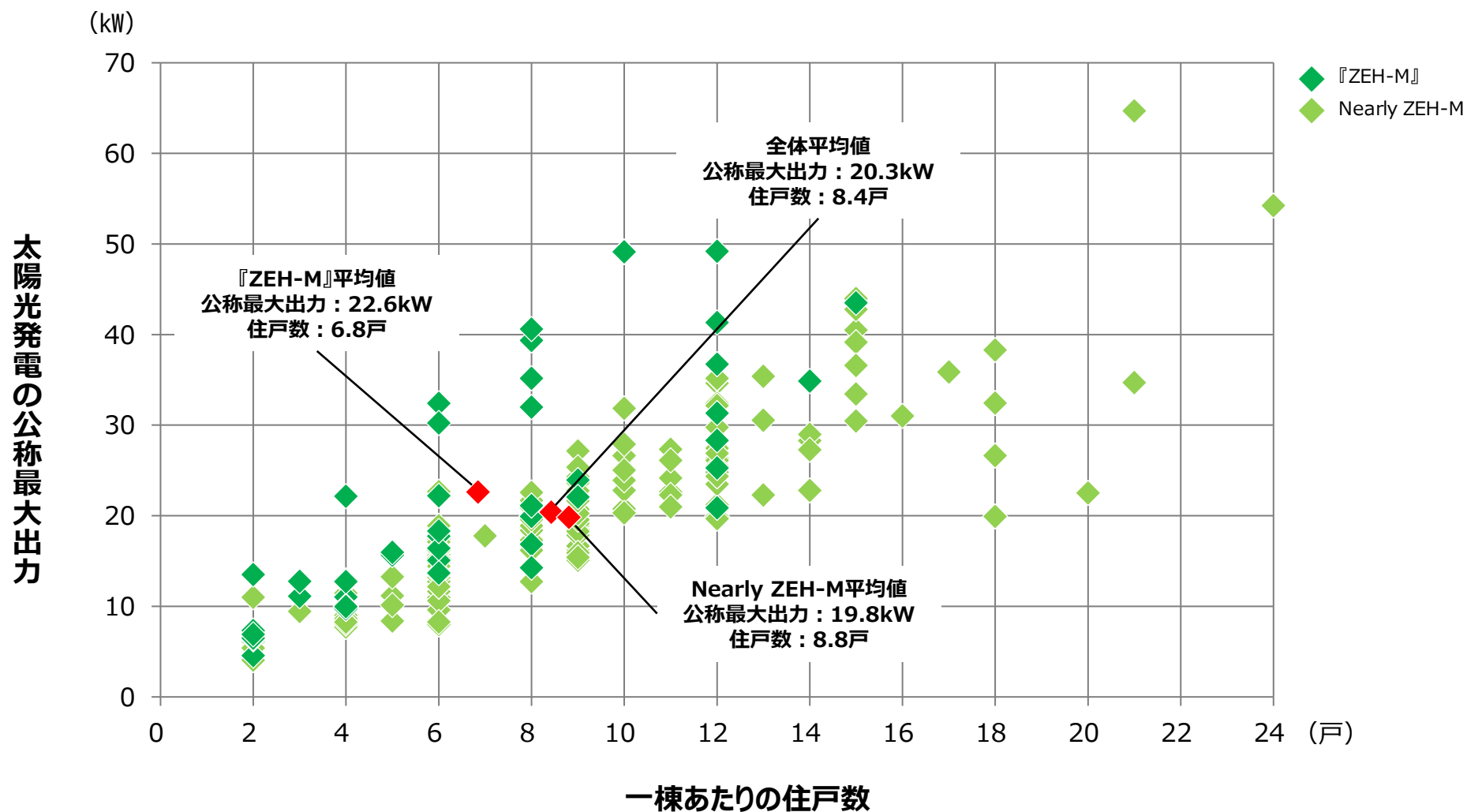
➤『ZEH-M』、Nearly ZEH-Mともに延べ床面積の増加に伴い、太陽光発電の公称最大出力も大きくなる正の相関が見られる。



9. 住棟の太陽光発電の公称最大出力の分布(住戸数別)

[N=270]

➤ 住戸あたりの公称最大出力の平均は、『ZEH-M』3.3kW、Nearly ZEH-M 2.3kW。



10. 住棟BELSによる単位面積あたりの一次エネルギー消費量(その他エネルギーを除く)(階層別)

[N=266]

- 2層・3層ともに、設計値は基準値から25%以上の削減を達成している。また、3層は2層に比べ、単位面積あたりの基準値・設計値ともにやや低い数値を示す傾向が見られる。

単位面積あたりの一次エネルギー消費量

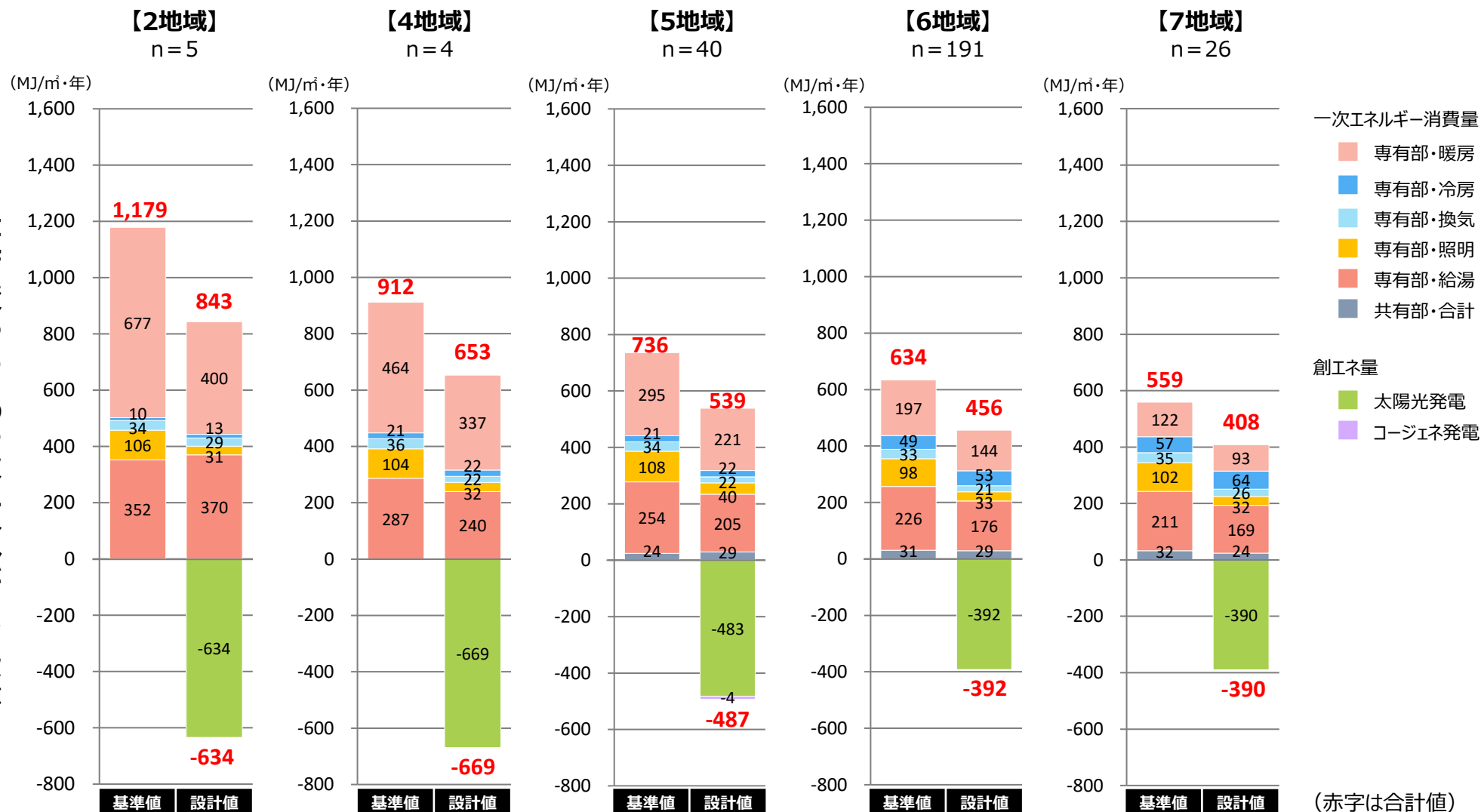


11. 住棟BELSによる地域区分別一次エネルギー消費量(その他エネルギーを除く)(地域区分別)

[N=266]

- 寒冷地である2地域において単位面積あたりの消費量が大きく、地域区分の数字が温暖になるにつれて、基準値・設計値ともに低下する傾向が顕著である。

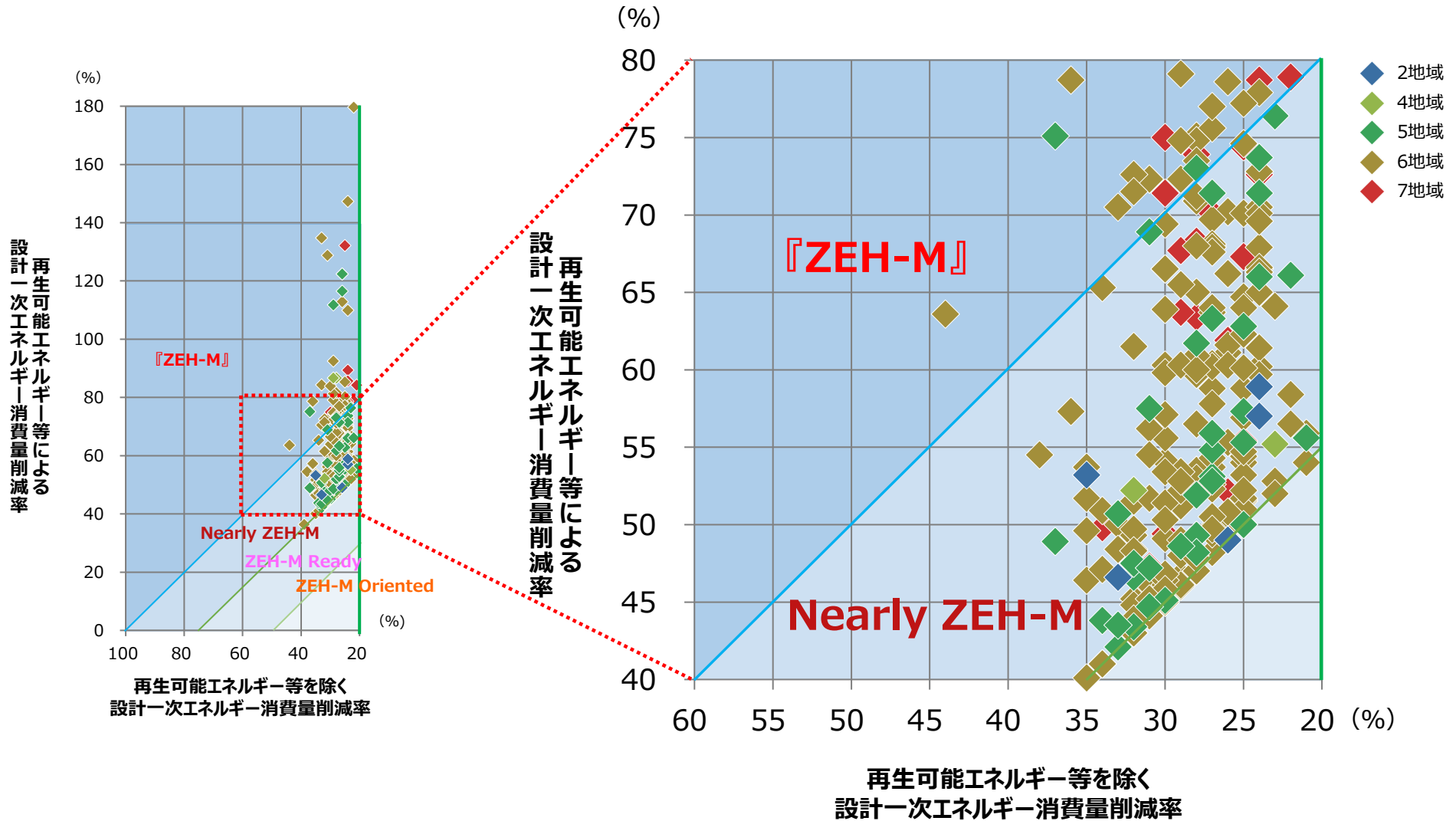
単位面積あたりの一次エネルギー消費量



12. 住棟BELSによるZEH-Mランクの達成分布

[N=266]

➤ 取得した住棟BELSによるZEH-Mランクは、『ZEH-M』が51件、Nearly ZEH-Mは215件だった。



13. 設計一次エネルギー消費量(その他エネルギーを除く)と太陽光発電による創エネ量(単位面積あたり)

[N=266]

- 取得した住棟BELSによる単位面積あたりの設計一次エネルギー消費量の単純平均は、2地域は827.7MJ/m²・年、4地域は654.9MJ/m²・年、5地域は555.6MJ/m²・年、6地域は488.0MJ/m²・年、7地域は427.0MJ/m²・年だった。

